

鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者委員会

日時	平成 30 年 10 月 10 日（水） 13:30～15:30
場所	市役所 3 階 庁議室
出席者	委員 11 人 浜田保、坪水徳郎、皆倉貢、堀之内健郎、橋口浩二郎、前田浩志、藤崎和彦、久保健太朗、北郷奏美、宮下恵子、隈崎和代

■主な質疑等

発言者	内容
委員 事務局 委員 事務局	<p>1 やってみたい仕事ができるまちへ</p> <p>○地域から撤退した企業の数ほどくらいか。 ⇒誘致した大きな企業では撤退はない。</p> <p>○企業支援の取組にはどういったものがあるのか。 ⇒企業誘致や起業に対する支援を実施している。</p>
委員 事務局 委員 事務局	<p>2 いつでも訪れやすいまちへ</p> <p>○スポーツ合宿で実績値が低かった要因は何か。 ⇒串良平和野球場の改修中に社会人等の野球チームの合宿受入れができなかったためである。</p> <p>○スポーツ大会を開催する際に、市外のチームに対して鹿屋市のお土産のクーポン券を配る等の取組はできないか。 ⇒経済効果も見込まれるため検討したい。</p>
委員 事務局 委員 事務局	<p>3 子育てしやすいまちへ</p> <p>○安心して出産できる環境が整うことや産科医不足の解消を望んでいる。 ⇒鹿屋市内には 4 つの産婦人科があり、県医療センターには 2 人の常駐の産科医いるが、県の事業で 10 月から 1 人増員され、改善の方向にある。</p> <p>○多子世帯への助成を手厚くできないか。 ⇒保育料の減免については、二人目は 1/2、三人目は無料となる取組を実施しており、今後、国が 3 歳を超えている子供については無償となるような方針を出しており、保育園、幼稚園の垣根もなくなる予定である。</p>
委員 事務局 委員 事務局	<p>4 未来につながる住みよいまちへ</p> <p>○公衆 W i - F i は観光地にも整備されているのか。 ⇒現在、避難所を中心に整備しており、観光地については、霧島ヶ丘公園、吾平山陵、輝北うわば公園を整備している。</p> <p>○自衛隊や体育大学と連携しながら、一緒にイベントを実施してほしい。 ⇒自衛隊、体育大学に行ったことがない人が多い。観光資源として体育大学の施設を利用することや、自衛隊の見学を実施するなど、地域の活性化に取り組みたい。</p>

	<p>5 その他</p>
委員	<p>○吾平、高隈といった地域でコミュニティ協議会が設立されているが、まちなかでの設立は難しいのか。</p>
事務局	<p>⇒行政主体で設立するのは簡単であるが、持続可能な活動をしてもらうためには、地域の課題は何があるか、解決するためにコミュニティ協議会が必要だという機運が高まり自分達で作ることが望ましい。</p>
委員	<p>○鹿児島県は県立大学を持っていない県であり、県立短大を4年大にできないかという要望はできないか。</p>
事務局	<p>⇒人口が減る中で地方に新たな大学を作るのは非常に困難であると考え。鹿屋市としては、体育大学を活かした産業に取り組みたいと考えている。</p>